

■三保地区説明会概要

(平成 23 年 6 月 29 日開催、参加者 48 名)

《質問・意見等》

- (1) 統廃合の最終決定は、どのようなプロセスで、どうやって決めるのか。
→(町)説明会、意見交換会の回数を重ねて、合意形成を図り判断していく。アンケート、多数決などでの決定は考えていない。
- (2) 中学校を 1 校に統合するのであれば、山北町を代表する新しい学校として、校名も変えてもらいたい。
→(町)方針決定後、検討組織を立ち上げるなどして、関係する学校の方々の話し合いで決定する。
- (3) 統合して新しい学校を創るというビジョンが見えてこない。
→(町)計画(案)第 7 章にあるように、統廃合を契機として、教育の質を高める施策を実施していきたい。
- (4) 統廃合実施にあたっては、全町民が町全体の問題として、考えられるような形で推進してもらいたい。
→(町)山北地区の説明会などで、清水、三保地区の方々の思いを伝えていきたい。
- (5) 移行期間中の特例措置について
 - 限られた時間の中で、子ども、保護者が判断するのは困難である。
 - 新 1 年生が山北中に通学してしまうと、在校生だけになってしまい、部活動などに支障が出る。
 - 残った 2 年生、3 年生の在校生に対して、何らかのケアが必要である。
 - 山北中に通学し馴染めなかった場合、地域の学校に戻れるのか。
 - 特例措置ではなく、学校間交流を充実させた方が良い。→(町)特例措置については、各家庭の事情もあるかと思い、希望を取ることを考えている。在校生のケアについては、学校間交流を充実させるなどしていきたい。また地域の学校に戻ることにについては、現段階では何とも言えないが、同じ学年の生徒がその学校にいれば、可能かもしれない。
- (6) 山北中の良いところ、悪いところを含めて、現状を伺いたい。
→(町)昨年度は、飲酒、煙草、深夜徘徊などの問題行動や、服装の乱れも見られたが、今年度は昨年度よりかなり良くなったと思う。

(7) 山北中の生徒の統廃合に対する意識はどうか。

→(町)確認していない。

(8) 小学校の統廃合の検討スケジュールはどうか。

→(町)現段階では具体的なスケジュールは決まっていないが、できるだけ早く検討していきたい。

(9) 小学生の頃からもっと数多く、学校間交流を実施していただきたい。

→(町)計画的に位置づけ、充実した交流が図れるよう考えていく。

(10) 子どもの心のケアについて、具体的にどのようにしていくのか。

→(町)方針決定したら学校を通じて子どもの思いを調査する。またスクールカウンセラーなども活用していく。

(11) スクールバスについては、出来るだけ学校に直行するような運行にし、乗車時間を減らしていただきたい。

→(町)できるだけ、乗車時間を減らすよう検討していきたい。

※単に統廃合に賛成、あるいは反対という意見については、載せておりません。